

第 35 回 一宮市地域公共交通会議議事録

【開催日時】

令和 4 年 5 月 24 日（火） 10：00～12：20

【開催場所】

オリナス一宮 3 階 多目的ホール

【傍聴人】

10 人

【議事内容】

1. 開会

会長及び副会長の選出

○吉田会長から辞意の表明があり、加藤委員を次の会長にと推薦があった。

《協議結果：承認》

○加藤新会長より地域の委員の方から選出する旨、提案があった。

○長年地域の代表を務めてきた宮口委員を新副会長にと推薦があった。

《協議結果：承認》

2. 講演会

「地域公共交通の充実とお出かけを」

3. 議題

3-1 報告事項

(1) 一宮市内バス路線等の利用実績

- ・事務局より一宮市内を運行する路線バス（iーバス、名鉄バス）、iーバスミニの利用実績を報告

《追加報告》

- ・令和2年度と令和3年度を比較すると107%となっており底は打ったと思われる。

ただし前々年比で77%とコロナ禍前に比べるとお客さんは戻っていない。通勤通学の時間帯のお客さんはある程度戻ってきているが、早朝、深夜の利用の落ちこみが激しい。お客様の需要に応じて細やかなダイヤ改正を行っていききたい。(バス事業者)

《質疑応答》

- ・iーバスミニの利用について、狭い空間での乗合を避けるため利用率が下がった旨の説明があったが、乗合率などは出されているのか。

→家族で子供連れや高齢者を連れての乗車は減っていると思われる。人数については全体的に減っていると思う。もともとタクシー車両を使っているので相乗りはもともと多くなかったとみている。

- ・iーバスミニの利用者から直接話はきいていないのか

→直接は聞いていない。

→定時運行をしているわけではないため、市の職員が聞きに行くのは現実的ではない。

乗務員にどこまでお願いできるのか。紙で書くとしても、時間が短いため回収をどうするかなど問題がある。

《意見・要望》

- ・公共交通は大病院を中心に路線が組み立てられてきたが、クリニックがなかなかない。

地域住民の需要に合わせていきたい。また、タクシー事業者が廃業する事態が三河地域で起きている。第3次公共交通計画については、事業者も一緒になって真剣に考えていきたい。バスモード、タクシーモードということではなく、地域に住んでいる方に安心して住んでいただくことが地域づくりに重要である。

- ・コロナ禍になって数値が落ちて、R1と比較しているが、これからずっと続いていくと思うので、コロナも他のこともセットで考えていかないといけないと思う。その時々でどうしていくとよいかを考えていかないといけない。iーバスミニの停留所の資料につ

いて、以前もらっていた H30 年度からの累計と比べると利用がすごく減ってしまったように見え、せっかく使ってもらっていたものが使われなくなったようで、不安である。

→今回は利用減の状況が分かるように R3 年度単年度の資料とした。利用されなくなった方に話を聞く機会がないので、今年度の計画策定の際に、地域の方のお話を聞きたい。この会議でもまた報告していきたい。

・コロナによって利用がどう変わったか分析したが、コロナ直後の 1 年くらいは通学がほぼ 0 になり、通勤も激減し、自由目的といわれる昼間の買い物や通院も激減した。その後通勤通学は相変わらず 2, 3 割減ったままだが、昼間の自由目的がコロナ以前まで回復している。路線ごとの比較をしているが、時間ごとの比較、分析をすることが大切である。また、深夜の利用が激減しているが、だからといって深夜の便を減らすことは、バス自体を使ってもらえなく恐れがあるためやってはいけない。先ほどバスモード、タクシーモードではなくという話があったが、帰りはバスでなくタクシーの車両でバス並みの料金で帰るという事業をやるのも一案だと思うが、民間だけでは難しいので行政の協力が必要だと思う。

(2) 地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果について

・事務局より地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果について報告

(3) 社会福祉法人の協力による買い物支援の実施状況について

・事務局より社会福祉法人の協力による買い物支援の実施状況について報告

《意見・要望》

○社会福祉法人がタクシー会社と提携して、買い物支援をしている例がある。近所のスーパーに曜日を決めて月 2 回、近所の人 3 人ほどをグループにして買い物をして帰るということをやっている。潜在的にニーズがあり、介護予防の観点でも重要。スーパーは最高のリハビリ施設といわれており、床は平らで、カートもあり、通路も広く、歩くのが困

難な方も歩きやすい。物の陳列が五感を刺激し、金額や食べる時期や献立などを考えて買うことで頭も使う。要介護度が下がったという話も聞いている。交通部局と福祉部局と連携してやっていただけたらよいと思う。

3-2 協議事項

(1) 一宮市公共交通計画にかかる令和4年度実施スケジュールについて

- ・事務局より一宮市公共交通計画にかかる令和4年度実施スケジュールについて説明

《追加説明》

- ・計画の策定には補助金が国から出ている。運行に係る評価はないが、計画策定に係る補助金の評価はある。第三者評価委員会で行うかは未定。現行計画に基づく事業実施の自己評価は中部様式を活用してやってもらうことになる。(運輸支局)
- ・公共交通会議が3回になっているが、計画策定をしていくのであれば、9月くらいには次をやらなければならないのではないかと。全員で集まるのか、部会という形でやるのかは、事務局と相談しながら進めたい。(会長)

《協議結果：承認》

(2) 公共交通協働推進事業計画について

- ・事務局より公共交通協働推進事業計画について説明

《意見・要望》

- ・一宮が尾張の中心になって、隣接する市町村との考えを一つにまとめて交通網を拡充できないか。丹陽地域に住んでいるので、稲沢、岩倉、北名古屋が全部関係してくる。一宮駅にでるよりも、稲沢、岩倉、北名古屋市へ出るバスがないかとなる。川をこえたらすぐ北名古屋市でそこに北名古屋市のコミュニティバスが来ている。橋を渡ってバスに乗って西春駅へ行くという方が結構いる。九日市場のバス停を使う方も多い。岩倉と稲沢を結ぶバスがここを通らないかとかそういうことを考えている。一宮だけじゃなくて尾

張全体を考えた交通網を拡充してほしい。一宮駅へ行くだけのバスではほとんど乗らない。一宮で商品を買うという人は少ない。みんな名古屋へ行ってしまう。一宮へ行くのは病院へ行くためという人が多い。

《協議結果：承認》

(3) 第3次一宮市公共交通計画の策定について

- ・事務局より公共交通協働推進事業計画について説明

第3次公共交通計画策定について、名古屋大学へ業務を委託すること、また、幹事会を設けて、議論を進めることについて、名古屋大学関係者を除いた委員で協議を行う。

《協議結果：承認》

4. その他

(1) ボランティア輸送支援の実施状況について

(2) シルバーパス65・ゴールドパス70の購入費用の一部負担について

(3) iーバスで市内の名所をめぐる案内チラシについて

(4) 一宮駅バスのりば案内標示の設置について

- ・事務局から上記4項目について説明

5. 閉会